

手もとりあて



合同運動会

施設長 小川内秀樹

顔に気持ちよく感じる風に、たくさん色とりどりの国旗が吹かれ、青い空を覗かせた運動会。梅雨にもかかわらず、この天気は、神様に感謝。ご利用者の顔もいつもより輝く。お年寄りと、若い陣がいのある方が参加する合同での行事は、それぞれの施設の色が出るものだ。活動的な行事であっても、お年寄りにとっては見て楽しむこともできる。職員が、ご利用者へ向けたりりげなく関わる介助を見る。それは、偶然行われるものではなく、普段の声かけや、普段の関わり方が出ているのだと思う。ご利用者の喜ぶ顔を見る時に、会場で介助する職員、園内で介助する職員の見えない働きにも支えられている事を思う。

お年寄りは、体調を配慮する必要がある。短時間で参加して頂く方法も、特設では、徐々に必要となってきた。外での行事を終え、「つよもつよ、デイ利用者、次山早食を食った。陽にあたることはいいですね。」と話してくれた職員。ご利用者に仕えるキングス・ガーデンの理念が目に見えた運動会。ありがとうございます。

五月のボランティアと書生

山田国昭様 金沢順子様 風見とみ子様 大塚清様  
矢花光様 協力牧師の方々 大熊緑様 佐藤ゆう子様  
山田千恵様 牧野和子様

ありがとうございます。



(NO.347)  
特別養護老人ホーム 筑波キングス・ガーデン  
0297(24)5139

ぬくもり



小林いち様 長女 松本 和江様

昭和三年十一月三日、常総市大生郷町で生まれました。後に結婚をし、三人の子供に恵まれ、父母共に農業一筋で三人の子供を育ててくれました。大きな病気もなく、丈夫だった母が十数年前、大腸骨髄癌の病になり初めての手術入院となり、母自身、驚きを隠しきれなかったように感じられました。

それから数年後に、デイサービス、ショートステイに行く事になり、書道、イベント等で楽しく過ごさせて頂きました。

この度、生活全てにおいて昼夜お世話になる事となりました。日頃、キングスガーデンの方々とのふれあいを楽しんできていた母なので、本人はもとより安堵しています。今年で八十九歳になりますが、日々笑顔で楽しく過ごしてほしいと思います。

キングスガーデンの皆様には、これからも色々な方面でお世話になる事と思います。いつも感謝しております。これからも宜しくお願い致します。

出前の日

ヘルパー 木村美香

五月二十七日に、七名の方が、近隣のお店から自分で食べたい出前品をメニューから選び、出前をとり、施設内でお食事をしました。

普段は食事が進まない方も、施設内にお肉を、メニューと完食。一人で黙々と召し上がる利用者もいれば、ヘルパーを気遣い、「これ、私を食べるよ」とおすそ分けしてくれる方も数名。

普段と違う雰囲気を感じていただき、また、美味しかった。」と頬を緩め喜んでいただけました。



レーナ・マリアさんとの送別会にて

レナ・マリアさんの葬儀

日本でのコンサートは福島から熊本までの十箇所で開催、どの会場も多くの方々が来場。感動と勇気を頂きました。

五月三十日、ご夫婦をお招きし、玉の肌骨骸本社でお別れ会を開催。ハードスケジュールにも関わらず、最後まで笑顔で話すレーナ・マリアさんに感謝！

母の日

ヘルパー 副主任 石塚綾子

五月十四日の母の日は、お菓子と花束でお祝いしました。

花束の贈呈や記念撮影を行いました。花束を見たご利用者は、素敵だね」と仰り、喜んで下さいました。また、お年寄りのほっぺやプリンなどを召し上がり、楽しいひと時を過ごしました。

記念撮影では、各々、とびきりの笑顔を見せて下さいました。

日頃の感謝を込めて、いつもありがとうございます。



「キレイな花だね〜」

梅雨入りしましたが、体調管理に気を付けて下さい。

ヘルパー 秋谷 小野村

相談員 日誌 野田 望

何年間か勤務しているヘルパーと、利用者との思い出を振り返ることがある。介護で苦労したことも、外出した時の思い出や、感動したことも、そして看取りの時の思い出など、様々な思い出が、また、ヘルパーによつては、自分が忘れていたこと、鮮明に覚えている人もいて、それぞれの記憶の中に利用者の方々が、生き続けていることを実感する。

思い出を話す時、共通することがある。どのヘルパーも、大変だったね。」や、懐かしいね。」楽しかったね。」と感想は様々であり、その表情は笑顔であり、感慨深い。

どのような思い出であっても、笑顔で振り返ることができるのは、利用者やご家族、職員同士で、一瞬一瞬を共有した証のようになっている。小さな事であっても大切な、今、を共有することを心掛けた。

あやめ見学



楽しいあやめの前で



楽しかったお茶会

まことに、神は、私を助ける方、主は私のいのちを支える方です。

詩編五十四編四節

心配していた天気も当日は晴れに恵まれ、守谷市の四季の里公園に、あやめ見学に行きました。黄色や赤、薄ピンク色の色とりどりのあやめが池いっばいに咲いており、皆様の顔から笑みが出てきました。行きの車中で、横になりたい」と話されていたK様にも笑顔が見られ、ほっと安心しました。

昼食は回転寿司に行き、デザートなど分かれて食事をしました。握りや軍艦巻き、デザートなどを皆様、自ら選び食べました。黙々と食べているU様とK様、会話をしながら食べているS様など、各々が楽しみなながら、食事をされていました。帰りの車中は筑波山がはつきりと見え、良い日となりました。

作業療法士 中山

六月のお誕生の皆様

草間みゆ様 大正十三年六月五日  
砂長貴子様 昭和十一年六月十三日  
お誕生日おめでとうございます

レーナ・マリアコンサートを終えて

理事兼代表理事 宇都宮和子

一年ほど前から、「Jのちのこ」と「共働」で、レーナ・マリアさんを、日本にお呼びする準備をしてきました。日本でのスタートは、筑波パホテルから、当日でも不安もありましたが、会場にはお子さんを始め、沢山の皆様がおいで下さり、ノパホールは満席状態。レーナ・マリアさんの歌声は、会場の人たちに多くの感動と勇気を与えてくれました。特に、チャインマン、ハート、の時は会場も一体となり手話の方と共に盛り上がりました。アンケートの中でも多くの方が感動して涙が止まらなかつた。小学校や中学校にも来てほしい、等という声が多かったです。

たとえどんな障害があっても神様は本当に素晴らしい贈物を一人一人に与えて下さっている。その大切な贈物を神様に捧げて一人一人のレーナ・マリアさんの歌声に心から、ありがとうございますと感謝します。このコンサートを支えて下さったスタッフにも深く感謝します。

機関紙ほほえみの記事は、筑波キングスガーデン個人情報保護方針に基づき、了解を頂いた上で掲載させて頂いております。